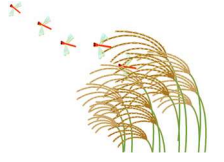




# あゆみこどもえんだより



令和 5 年 9 月 社会福祉法人あゆみ会 あゆみこども園 大江町大字藤田字大花 402-4  
 HP アドレス <https://www.ayumi-kodomo.jp> TEL 0237(62)3220  
 Mail アドレス [mail@ayumi-kodomo.jp](mailto:mail@ayumi-kodomo.jp) FAX 0237(62)3260

園長 小関 義人

8 月は猛暑日が続いて、水不足になっている地域もニュース等によく見聞きします。園の近くにある、小鳥山付近にも貯水池があるのですが、水がほとんどなくなっていて、他人事ではないように感じます。9 月に入っても猛暑が続く予報がでているので、更に深刻化するのではないかと心配される中ですが、子どもたちにとったら、暑い日は水遊び！！朝から、「今日、水遊びできる？」と楽しみにしているタフな子どもたちです。熱中症などにならないよう、遊び始める時間を早めたり、暑さ指数が 31℃を超えた場合は、外での活動を中止したりと注意しながら楽しめるようにしています。

暑さからくる疲れや朝夕の寒暖差などで体調を崩しやすくなる時期でもあるので、体調管理には十分に気をつけていきましょう。

## 9月 行事予定



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7 礼拝	8 パパ会	9
10	11 発育測定	12 防犯訓練	13	14 避難訓練	15 →	16 保育参観
17	18 敬老の日	19	20	21	22	23 秋分の日
24	25	26 誕生会	27	28	29	30

10月の行事予定	
10~13日 (火~金)	発育測定
12日 (木)	避難訓練
17日 (火)	礼拝
24日 (火)	誕生会

～プール撤収作業  
 ありがとうございました～  
 0歳児の保護者の皆さんと保護者会役員さんの協力をいただき、プールの撤収を行いました。作業ありがとうございました



わたなべ あゆむくん  
 3さい  
 おめでとう～！！

～ヘルパンギーナが県内で警報レベルになっています～  
 ・どんな症状？  
 39℃以上の夏が1～3日続くと同時に、喉が赤く腫れて小さな水疱がたくさんできます。水疱は2～3日ですづぶれて黄色い腫瘍になります。喉の痛みが強いために、食事や飲み物を受け付けらることから、「脱水症状」を起こすこともあります。  
 しっかり、手洗いをして感染予防に努めましょう。





～9月1日は、



～

## 『防災チェック』

### ●注意点や必要なものをチェック

災害が起きたとき、やるべきことはなにか、またどんな物が必要になるのかを調べておきましょう。子どもと一緒に自宅周辺を散歩しながら、避難場所までのルートも確認しておくといいですね。

身の周り、家の周りの危険性を確認しましょう。  
落下・転倒防止対策を行いましょう。  
火災防止対策を行いましょう。  
身の安全対策を行いましょう。  
家の中の安全チェックを行いましょう。

### ●非常袋は子ども用品も忘れずに

非常用のアイテムをまとめて用意しておけば、もしものときにすぐに避難できたり、ライフラインがストップしてしまったときの備えにもなります。セットで売られている一般的な非常袋には子ども用のアイテムは入っていないので、おむつなど年齢に合わせて必要なモノを用意しておきましょう

ミルク・哺乳瓶や離乳食・おむつ・おしりふき・子ども用の防災頭巾・子ども用の薬・下着・洋服・おもちゃなど



### ●地震が来たときのとっさの行動

お父さんやお母さんが赤ちゃんと一緒にいれば、赤ちゃんと自分の安全の確保をしましょう。とっさの場合、安全な場所に移動できず、赤ちゃんを守るためにお父さんやお母さんが覆い被さるといふこともあるかもしれませんが、お父さんやお母さんが負傷して動けなくなると、赤ちゃんを避難させられなくなります。基本的には、一緒に身を守ることを考えましょう。

キッチンで煮物中など、火を使っている場合も、最近では基本的に自動的に火が消える設計になっているコンロも多くあります。別な部屋から、急いで火を消しに行くよりも、まずは赤ちゃんと自分の身を守り、落ち着いてから火を消しましょう。大きな地震で、移動が可能ならガスの元栓も切っておきましょう。

キッチンは、食器や包丁など、倒れたり落ちてくると危険なものも多く危険です。赤ちゃんと一緒にキッチンにいた場合は、火を消して、安全な場所にすぐ移動しましょう。

## 『赤ちゃんがいる家庭』

### ●地震に備えたお部屋の見直しを！

赤ちゃんの場合は、ベビーベッド周りを、おすわりしたり、一人遊びができる赤ちゃんなら、日頃遊んでいるリビングなどの空間で、ものが落ちたり倒れてくるものがないかを確認しましょう。

### ●地震に備えたお部屋の見直しを！

タンスなどは倒れないように固定したり、タンス自体は倒れなくても、タンスの上に乗せている箱が落ちてくるともありませんから、別の部屋に移動するなどしましょう。倒れ防止の突っ張り棒もありますが、可能なら壁に固定してしまう方が、安心です。赤ちゃんが過ごす空間にテレビがあることも多いと思いますが、地震でテレビが倒れてくることがあり、要注意です。テレビが薄く大型になっている場合もあります。テレビ画面は不安定ですから、ひもなどを使って、壁に固定するなどしておきましょう。ものが多くて、安全な空間の確保が難しい場合には、テーブルの下に突っ張り棒のように補強できるものが、ホームセンターなどで売られています。そのようなものを利用するのも一案です。

### ～災害等の緊急時の園からの連絡～

緊急時の連絡は一斉メールにてお知らせいたします。まだ登録を済ませていない方は、必ずご登録ください。

あゆみこども園 メールアドレス [ayumikodomoen@gmail.com](mailto:ayumikodomoen@gmail.com)

